

配管刻印問題に対する再発防止対策の実施状況について

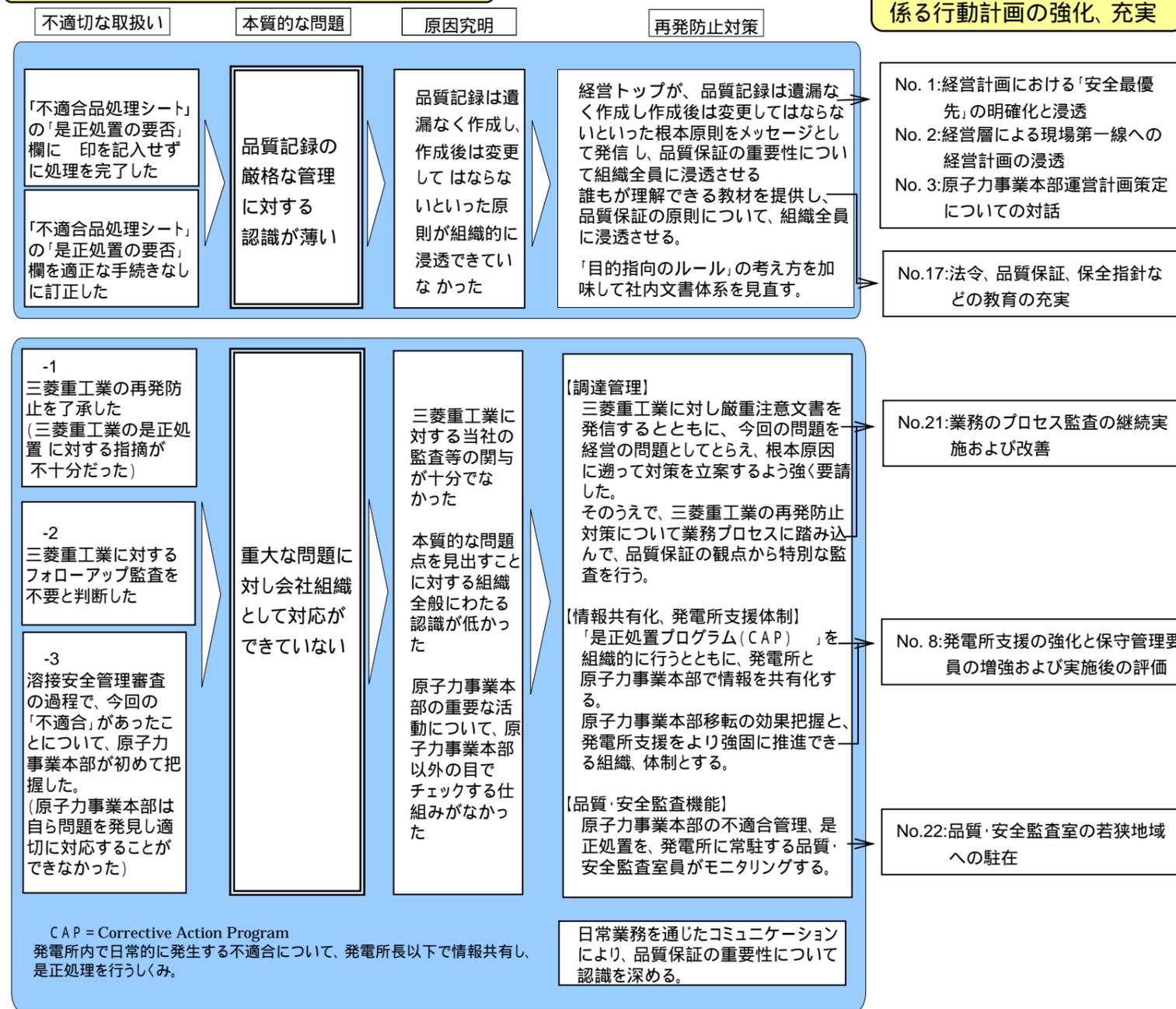
原因と再発防止対策

実施状況

直接的な原因と対策

原因	対策
a. 「不適合品処理シート」の発行などルールに基づく行為は行われていたものの不十分であり、品質保証の基本に立ち返った対応ができていなかった。	a. 原子力事業本部長から各副事業本部長・各発電所長に対し、注意喚起および厳正な品質管理活動を行うよう再徹底。
b. 「不適合品処理シート」の具体的な記入方法や訂正方法などが明確でなかった。	b. 「不適合品処理シート」の具体的な記入方法や訂正方法などについてのルール化と周知徹底。
c. フォローアップ監査の要否について、適切な判断が行われていなかった。	c. フォローアップ監査の要否についての判断基準の明確化と周知徹底。
d. 刻印の打ち替えの発見は、検査員の高い使命感や機転によることが大きい	d. 溶接検査時に確認すべき事項の明確化と周知徹底

本質的な問題に対する原因究明と再発防止対策



直接的な原因に対する再発防止対策

直接的な原因に対する再発防止対策は全て完了。

行動計画を強化・充実した再発防止対策

再発防止対策は全て実施段階。引き続き確実に実施していく。

【No.1,2,3】

- ・社長が全社員に対して品質保証の根本原則をメッセージとして発信済。(平成17年12月8日実施)
- ・経営計画役員キャラバンにおいて品質記録の重要性について浸透を図った。(計52回実施:平成18年2月28日~4月12日)
- ・膝詰め対話(STEP3)において品質記録の重要性について浸透を図った。(美浜、高浜、大飯 計15回実施:平成18年2月20日~3月17日)

【No.17】

経営層も含めて、「品質保証の原則の浸透教育」を実施中。
(4月末完了予定)

- 原子力関係役員 : 平成18年2月23日実施
- 原子力事業本部、美浜発電所 : 平成18年2月14日から実施中
- 高浜発電所、大飯発電所 : 平成18年2月16日から実施中

【No.21】

品質保証システムが本社の関与も含めて改善されているかとの観点から、三菱重工業(株)に対する特別な監査を実施中。(平成17年12月~)これまでの4回の監査により、再発防止対策は着実に実施されていること、再発防止対策を推進する上でベースとなるQMS構築について、本社と事業所との係りの明確化や事業所内の各職位の責任と権限の整合性といった課題があることを確認。平成18年度も特別な監査を継続実施し、改善を求めていく予定。

【No.8】

・是正処置プログラム(CAP)の組織的展開開始。(平成18年1月~)実績を踏まえて運用を改善しつつ継続実施中。
 ・発電所支援をより強固に推進できる組織、体制とすべく、組織改正・原子力事業本部移転の効果把握を実施中。

【No.22】

発電所に常駐する品質・安全監査室員が原子力事業本部の不適合管理、是正処置をモニタリング中。(平成18年1月~)

日常業務の中で取り組んでいる活動

- (文書体系の見直し) 文書体系再構築のためのWGを設置して、具体的作業開始。
- (コミュニケーション) 各ラインの会議体を通じた取り組みを実施中。